



現役部活生が考案した部活生・マネージャーのための 部活手帳「部 log」

新商品完成発表会のお知らせ

和歌山大学観光部佐野ゼミめもりいむ 4 名が考案

和歌山大学観光学部佐野ゼミに在籍するめもりいむ（担当：観光学部 准教授 佐野 楓 担当学生：3 回生上田百葉 大木美礼亜 藁田悠翔 山本萌永、以下めもりいむ）が考案した部活手帳「部 log」の新商品完成品発表会を 4 月 23 日（火）和歌山大学にて行います。「部 log」は実際に商品化を目指す大学ゼミ対抗のインターカレッジ S カレ（Student Innovation College 以下 S カレ）2023 で伊藤手帳（本社：愛知県名古屋市 代表取締役社長 伊藤亮仁）のテーマ「デジタル化時代に必要な手帳」で提案されました。

優勝は逃しましたが、手帳のコンセプトと斬新な仕様案（上下 2 段に独立した手帳）が素晴らしく、伊藤手帳が商品化を進めてまいりました。この度販売準備が整い発案者のめもりいむによる新商品完成発表会を行う運びとなりました。

【部 log 発案のきっかけ】

めもりいむのメンバー内に部活生と部活マネージャーがいます。学業やアルバイト、部活の時間で 1 日があっという間に終わってしまうと思っていました。

そこで、部活生と部活をしていない学生に 1 日のスケジュールについてアンケートを行いました。その結果、部活をしている学生は部活をしていない人に比べ自由時間が 5 時間も少ないという結果になりました。

また、部活をしている学生はベシンの維持や、やるべき事の整理が多数あるという課題を抱えています。これらを解決する手帳はできないか？という所が「部 log」の企画を考えるきっかけとなりました。

■部活手帳「部 log」新商品完成発表会について

日時：4 月 23 日（火）12 時 30 分～13 時 30 分

場所：和歌山大学 西 1 号館 1 階 会議室

当日の流れ

- 観光学部 准教授 佐野 楓先生によるめもりいむチーム紹介
- めもりいむチームによる「部 log」開発の経緯と商品紹介
- 開封の儀 ※梱包された状態の「部 log」を学生が開封し、お披露目を行います
- 質問タイム：考案者・製造元への質疑応答（ご来場者どなたでも質問可能です）
- 伊藤手帳代表取締役社長：伊藤亮仁 産学連携における事業シナジーについて/商品化に対する想い



6.フォトセッション

また、「部 log」は新商品完成発表会同日4月23日より伊藤手帳 EC サイトユメキロック本店・楽天市場店・Yahoo ショッピング店・Amazon 店にて、5月7日より和歌山大学生協で販売を開始します。

販売価格はセット販売 1,980 円（税込み）。リフィル2種類各 880 円（税込み）。

▼部活手帳 「部 log」メイン仕様と外観



目標と目標までのプロセスを一目で確認できる仕様（上下に異なる内容の手帳がセットされている）



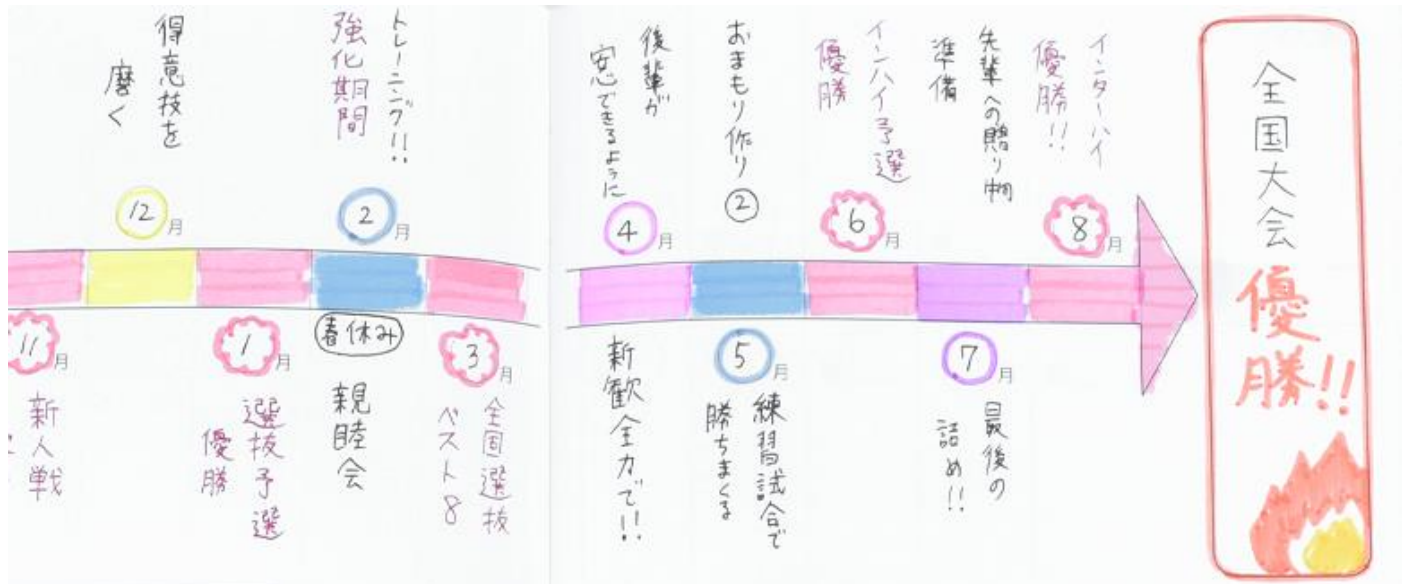
▼外観画像（2冊の異なる手帳が1枚の手帳カバーに収納される）



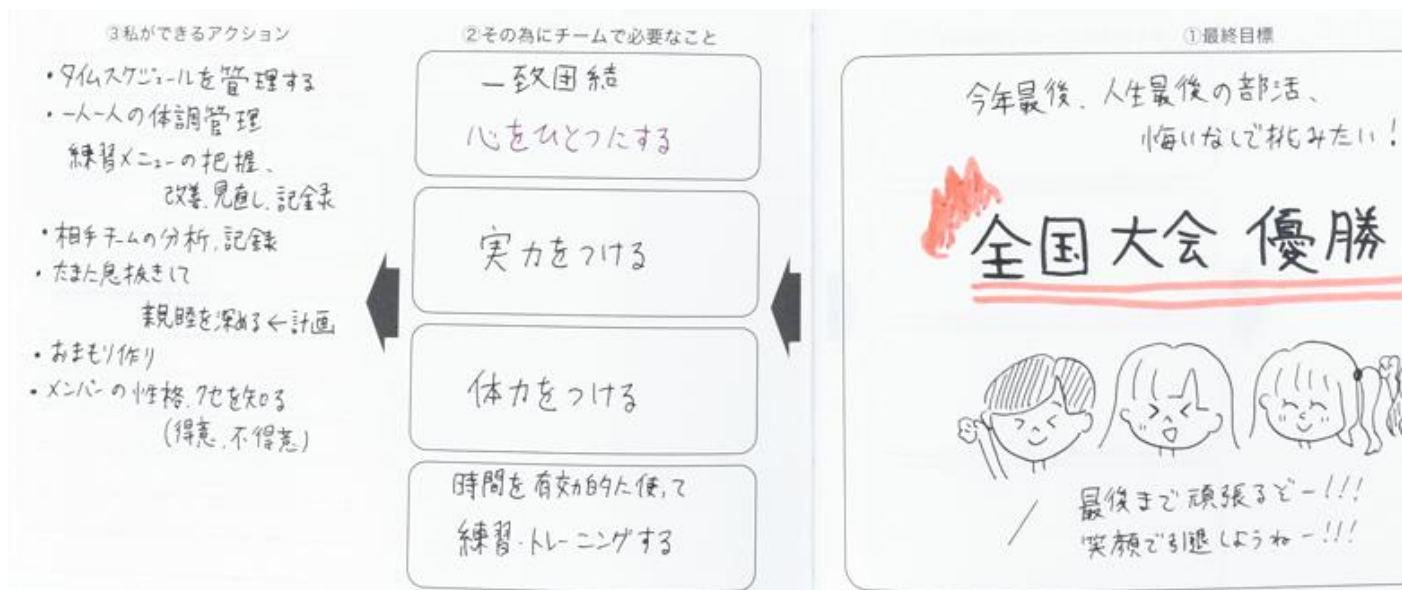


▼「部 log」の特長（主なページ構成）

- ・「目標達成」のためにモチベーションをあげるページ



- ・ 目標達成のためのプロセスを記入するページ



- ・ 授業やアルバイトの予定を管理する月間カレンダーページ。その日の出来事をメモするログページ。



● 商品化に至った背景

めもりいむは実際に商品化を目指す大学ゼミ対抗のインターカレッジSカレの伊藤手帳テーマ「デジタル化時代に必要な手帳」に参加しました。

Sカレは秋と冬に企画をコンペ形式で商品化の企画を競う方式で、めもりいむの考案した部活手帳「部 log」は惜しくも1位を逃しました。

しかしながら、部活手帳「部 log」の商品コンセプトの高さと、めもりいむ4名の「部活生のために商品化して欲しい」というめもりいむの熱意から伊藤手帳が商品化をする運びとなりました。

▼発案者めもりいむチーム

**【伊藤手帳代表取締役社長 伊藤亮仁より】**

私自身が学生時代に野球部で活動していた経験から、部活動における情熱とモチベーションの重要性を痛感しています。「部 log」の企画に触れ、もし当時このような手帳があれば、私の部活動生活はもっと充実したものになったと思ったのが商品化に至ったきっかけです。そして、チームを支えるマネージャーの役割も重要であり、「部 log」を通じて忙しい日々を効率的に過ごし、チーム全体の活気を高めていくことを願っています。

参照) 商品化を目指す S カレとは

S カレは、実際に商品化を目指す大学ゼミ対抗のインターカレッジです。2006年に発足し17年を迎えます。今年度の S カレ 2023 には全国 32 大学 38 ゼミ 169 チーム 552 名が参加しました。

S カレの目指すところは、未来のマーケターの育成にあります。大学は違えども志を同じくする若い仲間が、仲間同士で協力しあい、互いに切磋琢磨しながら、商品企画プロセスとそのマネジメントを実際に体験します。その企画はウェブ上で提案され、皆さんの前で発表します。さらには現実の市場において問います。ここに、S カレの他にない特徴があります。



学生が、実際のユーザーと対話しながら、商品企画を進めるという実践的なマーケティングを学ぶ機会は、世界広しといえども、Sカレしかありません。また、企画の渦中において、ライバルチームの成果を見ながらリアルタイムに競争するという場も、他に例を見ません。参加する学生にとっては、マーケティング実践を学ぶ絶好の機会であり場であると考えています。

▼Sカレ公式サイト <https://s-colle.ws.hosei.ac.jp/>

【和歌山大学観光学部について】

和歌山大学観光学部は、観光学を構成する「観光経営」「地域再生」「観光文化」という3つの基本領域をコンセプトとした1学科3コースからなる教育体系でカリキュラムが組まれています。専門性を高めつつ学際的視点を育むために、分野横断的に学びます。加えてGlobal Programを配置し、国際的視点で物事を捉えて考える力、多様な文化的背景を持つ人々と互いに理解しあえるコミュニケーション力、そして国際的に展開される観光学の専門知識を修得し、自らの考えを発信できる力を向上させます。また、国内外の地域を対象として取り組んできた実践型教育をより一層拡充し、現代社会が抱える諸問題の解決に必要な「包括的対応力(ジェネリックスキル)」を養成します。

【伊藤手帳株式会社について】

昭和12年現代表の祖父が個人経営として創業。平成20年伊藤手帳株式会社へ組織変更とともに伊藤亮仁が3代目代表取締役へ就任。事業承継時100坪であった本社兼工場(名古屋市東区)から工場部門を愛知県小牧市へ移転。

2022年4月に小牧第2工場(2nd Base)も稼働。総計1800坪の敷地で年間1,000万冊の手帳を製造します。事業成長率9.20%(4年間)。

2021年よりSDGs宣言に基づく地域貢献の1つとして愛知大学・一宮商業高校、聖徳学園中学校(東京武蔵野市)と産学連携プログラムによる手帳開発・販売を手掛け手帳需要の裾野を広げる活動も行っています。

2023年は愛知大学キャリア支援センター、愛知県立一宮商業高等学校聖徳学園中学校(東京武蔵野市)、Sカレ(Student Innovation Collegeの略。実際に商品化を目指す大学ゼミ対抗のインターカレッジ)と手帳の新商品開発に取り組みました。

2023年12月までに合計60の手帳に関する企画案が提案され、そのうち4案を商品化しました。

商号：伊藤手帳株式会社

代表者：代表取締役 伊藤 亮仁

所在地：〒461-0034 本社：愛知県名古屋市東区豊前町3-42 TEL:052-936-2363

事業内容：各種手帳の製造、販売、一般書籍の製造、ビニール製品の製造

資本金：10,000,000円

News Release

報道関係者各位

国立大学法人

和歌山大学



ITO TECHO

2024年4月9日

和歌山大学観光部佐野ゼミゆめろいむ

伊藤手帳株式会社

URL : 伊藤手帳オフィシャルサイト <https://ito-techo.jp/>

ユメキロック本店 : <https://www.yumekirock.com>

楽天市場店 : <https://www.rakuten.ne.jp/gold/yumekirock>

Yahoo ショッピング店 : <https://store.shopping.yahoo.co.jp/yumekirock>

Amazon 店 : <https://amzn.asia/d/bt2RmHX>

<プレスリリース・記事掲載・取材・メディア向け参加 UL に関するお問い合わせ>

和歌山大学観光学部 佐野 楓 073-457-8579 kaede@wakayama-u.ac.jp

伊藤手帳株式会社 広報 神谷 090-3710-0118 kamiya@ito-techo.co.jp